

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



樹木の緑も鮮やかさを増して、爽やかな季節を迎えました。ゴールデンウィークも過ぎてしまいましたが、今年はどうな風に過ごされましたか？

中には10日間と長〜いお休みを利用し、ご家族あるいは仲良しの友人と楽しい時間を共有されたことでしょう。

一方、熊本県では数えきれないくらい頻繁に起きた地震で、今なお不自由な生活を強いられている多くの方たちがおり、心が痛みます。

一日も早い復旧をお祈りいたします。



さて、4月に入学・入社をされた皆さん、新しい環境にはもう慣れましたか？

楽しいことや辛いこと等いろいろな体験を通じて、大きく成長してくださいね。

今月もお元気でお過ごしください！



建築のいろはにほへと・・・？

【地盤改良の方法】

地盤調査の結果、地盤が軟弱だと判断された場合は地盤改良を施す必要があります。改良方法は、軟弱地盤がどのくらいの深さに存在するかによって、3つの方法に大別されます。

【表層改良方法】

軟弱地盤の層が概ね地表から2m前後と比較的浅い場合に採用される工法です。

セメント固化剤を土壌に混ぜて攪拌し、地盤を固めます。

【柱状改良工法】

表層改良が実施不可能な敷地や、軟弱地盤が地表から約8m前後までの深い場所にある場合に用いられる方法。強固な層までコンクリート杭を入れて、地盤と建物を安定させます。

【杭工法】

建物を支持できる良好な地盤が深い場所にあり、基礎からの距離が長くなってしまったり、地盤強度が敷地内で均一でない状況の場合に採用される工法です。鋼製の杭を強い地盤層まで打ち込んで安定させます。



※液状化現象とは？

液状化現象とは、水分を含んだ土砂が地震の振動によって砂の粒子と水に分かれる現象です。砂は水より重いため、砂の粒子が沈殿して地層の下部に移動、追いやられた水は上部に移動します。この現象が進んで土中の水圧が高くなると地表の割れ目から水が噴出します。この現象が発生すると地盤が収縮するため地盤沈下が起こります。

「鯉のぼり」

端午の節句に鯉のぼりを立てるようになったのは、江戸時代の中頃と言われています。

「鯉の滝登り」という言葉をご存知ですよね。

黄河に激流が連なった難所があり、「竜門」と呼ばれていました。下流からいろいろな魚が群れをなしてさか上ってきますが、鯉だけが滝を登り切って竜になるという故事です。このことから、鯉は立身出世のシンボルとされました。

普通、縁起が良いとされるものは食べる人が多いのですが、鯉を食べるのではなく、何故「鯉のぼり」として飾ったのでしょうか？

これは、男子誕生の喜びを世間に知らせるために戸外に立てられるようになったからなのですが、どんどん華美に競い合うようになり、屋外に鯉のぼりを飾ることは禁止されました。火事の消火活動の邪魔になるという理由もあったようです。



「火事と喧嘩は江戸の花」という言葉もあるように、江戸は火事が多かったようですからね。

色褪せたトレーナー



5 月の第 2 日曜日は母の日でしたね。

皆さんも、それぞれの形でお母さんへの思いを伝えたことでしょう。

普段は忘れていたことも、母の日が近づくと、ふと思いつくこと……ってありますよね。

今回は、ある男性の子供時代の思い出をお伝えします。

我が家は、とっても貧乏だったんです。

運動会の日も授業参観の日さえも、お母さんは働きに行き、学校には来ることがなかったくらい家庭でした。

そんな俺の 15 歳の誕生日のことです。

お母さんが嬉しそうな顔で俺にプレゼントを手渡してくれた。

それは、ある有名なロゴのついたトレーナーだった。俺は「ありがとう」と言いつつも、ちょっと派手で恥ずかしくて着られないなと内心思っていた。

でも、その夜、俺は考えた。

新しい洋服も買わず、美容院に行くのは最高の贅沢。手は年中カサカサで、化粧なんて当然していない。歯の治療をするお金さえない。

そんなお母さん。

こんなトレーナーを買うくらいならもつと他のことに使えよ。



そんなことを考えながら、もう何年も見ていない昔のアルバムが急に見たくなくなった。

若い時のお母さんが写っている。

えっ！これがお母さん。

俺は目を疑った。

だってそこに写っているお母さんはまるで別人のようだったから……。

きちんと化粧をし、健康的な肌に白い歯をのぞかせながら笑っているきれいなお母さんがそこにいた。

俺は涙が止まらなくなった。

毎日毎日働きづめで、何の楽しみも望まずに、ただただこの俺を育ててくれるために女を捨てたお母さん……。

その夜、俺は誕生日のお祝いにもらったトレーナーを抱きしめて眠った。

そして思う。

自分も早く学校を卒業して、一生懸命に働き、お母さんを楽にしてあげたい。

だから、俺が一人前になるまでもう少し待っていてくれよな。



お母さん、本当にありがとう！

「編集後記」

陽も緑も日ごとにまぶしさを増すこの頃ですが、お変わりなくお過ごしのことと思います。

熊本県で発生した地震は、1ヵ月以上経過した今も未だ収束せず、「普通の生活が送れる幸せ」をあらためて実感しています。想像を超える苦痛を思うと言葉がありませんが、お体を大切にしてくださいね。遠くから応援しています。

さて、当社では今年もGW家づくり相談会を開催し、多くの方にご来場いただきました。折角のお休みに有難うございました。何か一つでも参考になることがございましたら幸いです。これからも、どうぞよろしく願っています。

今月号もお読みいただき有難うございます。

※「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

また、ご不要の方もご一報ください。

編集責任者

渡辺 田鶴子

